

陸軍作戦

終連報甲第四四一號 關聯

(A P O 五〇〇 四月二十三日附)

臺灣ニ關スル情報回答ノ件 (案)

昭和二一、五、七
第一復員局史實部

首題ノ件前部關係事項左記ノ如ク回答ス

(素案ナルニ付御氣付ノ點御教示ア諾度)

左記

質問第一項

戰時中演スヘカリシ臺灣ノ役割ニ關スル件

一、開戦前

主トシテ南方作戰ノ爲ノ後方根據タルト共ニ對比島攻略作戰ノ爲ニ進進基地タルノ役割ヲ演ス

海運基地 (主トシテ高雄港)

航空基地 (對比島航空作戰基地)

主トシテ南方部臺灣

10

送放波中

南方作戰充當部隊ノ集結、待機

軍需品ノ集積（主トシテ高雄周邊地區）

二、開戦後ニ於ケル變遷

一、一九四四年三月頃迄

南方圈ト北方圈トノ連絡中樞タルノ役割ヲ演ス

二、一九四四年三月（「マーシャル」群島喪失）以降

前記連絡中樞タル外當時ニ於ケル帝國ノ東方防禦線（「ト

ラツク」）「マリアナ」要域）ノ後方陣地（主トシテ米軍

ノ奇襲ニ對應ス）タルノ役割ヲ演ス

三、一九四四年^{六月}（「マリアナ」喪失）以降

本連絡中樞タル外帝國ノ東正面ニ對スル本防禦線タル役割

ヲ演ス

四、一九四五年一月（比島喪失）以降

帝國ノ本土ヲ中核トスル絶對國防圈ノ兩側據點タルノ役割

ヲ演ス

透

放

渡

中

5. 一九四四年六月沖繩喪失一以降
米軍ノ帝國本土進攻ニ對シ支作戰場（米軍ノ主攻ニ對シ側
背ヨリ情報ノ蒐集脅威、妨害等）タル役割ヲ演セシメンコ
トヲ企圖ス

送 放 渡 中

0329

送 放 波 中

0332

質問第五項 一九四一年十二月八日及一九四五年八月一日ニ於ケ

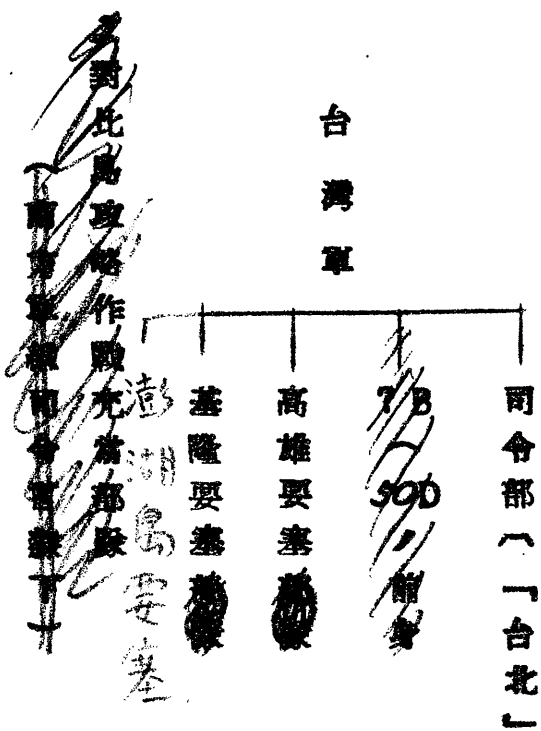
ル在台湾陸軍關係主要部隊指揮系統

註 人名ハ人事課ニ於テ記入順康

一九四一年十二月八日

台湾固有部隊

台湾軍



司令官
參謀長

安藤利吉
和知鷹二

送 放 波 中

第五飛行師團

(司令部「屏東」師團長 中將 小畑 英良)

第十四軍

軍司令部「」

司令官 中將 本間 雅晴

參謀長 少將 前田

正 資

16D (「〇〇」長 中將 〇〇)

48D (「〇〇」長 中將 土橋 勇逸)

69D (「〇〇」長 中將 奈良 晃)

送

放

波

中